

平成18年度「目標チャレンジ」表彰課所

【優秀賞】IT関係経費の節減（情報政策課IT企画室）

目標数値等	実績
平成19年度当初予算要求概算見積額からの経費削減 ・1,000百万円	削減額：約1,100百万円 各部局が積算した平成19年度のIT関係経費の総額9,784百万円に対し、1,102百万円を削減（要求額の11.3%削減） (H16～18年度の3ヶ年の平均削減率：5.3%)
<p>(表彰理由)</p> <p>CIOの技術的評価を踏まえた各部局の事務事業の見直し等によりIT関係経費を目標以上に削減。厳しい財政状況の中で相当な行革効果。</p> <p>CIOを核に情報政策課職員が複数班体制で、全庁の情報システム等の現状を把握し、全ての予算計上予定事業(224)に対しCIOの技術的評価を実施。</p> <p>業務の見直しや情報システムの再構築に向け、ITに関する職員の意識を改革させる取り組みであった。</p>	

【優秀賞】いばらき畜産物のブランド力向上（畜産課）

目標数値等	実績
常陸牛販売指定：270店舗	328店舗指定（H19年2月末現在）
<p>(表彰理由)</p> <p>農業改革大綱の目標(平成22年度までに300店舗)を4年早く達成。近年の年間指定店数と比較しても大幅なアップ。36店 41店 78店</p> <p>常陸牛のブランド化に向けて、首都圏を中心とするメディアへの情報発信を戦略的に行なうとともに、消費者に安心・安全を認知させる生産管理体制の整備にも努め、ブランドの確立に大きく寄与した。</p> <p>市場関係者からの評判も日に日に高まりつつある。</p>	

【努力賞】結婚対策（子ども家庭課少子化対策室）

目標数値等	実績
結婚組数：50組 マリッジサポーターの確保： 1000名	40組（H19年2月末現在） 308名（H19年2月末現在）
<p>(表彰理由)</p> <p>国を挙げて取り組むべき少子化対策について、本県独自の施策として職員が一致結束してPR等に積極的に取り組み、「いばらき出会いサポートセンター」発足後40組の成婚実績を挙げたことは高く評価できる。</p> <p>年度中途での事業スタートであったにもかかわらず、目標の8割を達成する成果を収めたことは十分表彰対象に値する。</p>	

**【努力賞】廃棄物小型焼却炉に係る立入検査率アップ
(県西地方総合事務所環境保全課)**

目 標 数 値 等	実 績
立入検査数：100件	103件（H19年2月末現在）
<p>（表彰理由）</p> <p>県内で最も多くの小型焼却炉が設置される中、住民の不安解消に向け、公害防止グループと環境保全グループが連携を密にした合同立入調査や廃棄物対策課の併任警察官を同行しての立入調査を実施するなど、職員が結束して困難な課題に取り組み目標を達成した。</p> <p>違反事業者に対しては、文書改善指示、改善計画書の徴収、改善後の現地確認調査の実施を行なったほか、悪質な違反に対しては炉の使用停止を求めるなど徹底した取り組みを行なった。</p>	

【努力賞】全国トップクラスの徴収率をめざして(税務課)

目 標 数 値 等	実 績
平成18年度目標徴収率：96.0% (H16年度:95.4%であった徴収率を当面3年間で全国上位水準の97.0%へ引き上げる目標の初年度)	年度末徴収率見込み：96.5% (3年間の目標を2年で達成でき得るペース)
<p>（表彰理由）</p> <p>従来の「催告の繰り返し整理」から「処分前提の整理」へ方針転換する業務運営の抜本的な改革を行ない、各県税事務所毎、さらには担当職員毎の業務管理を徹底し、職員の意識改革の徹底を図り、目標を上回る見込みである。</p> <p>特に債権や自動車の差し押さえを積極的に行なうとともに、県税務職員を市町村へ派遣するなど徴収体制の強化に努めた。</p> <p>徴収率の向上に向け、戦略的な情報発信を行なった。</p>	

【努力賞】財務システムに係る所属へ配付する全帳票の電子化（出納第一課）

目 標 数 値 等	実 績
各所属へ配付する全帳票の電子化 (88帳票の電子化)	88帳票の電子化
<p>（表彰理由）</p> <p>財務システムの203帳票を精査し、電子化する帳票と電子化しない帳票との仕分け作業やCSV化する帳票の選別、さらには利用マニュアルの作成などグループ員が一丸となって事務の効率化に向けた取り組みを行った。</p> <p>導入効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理内容の確認の迅速化：現行0.5～3日 0日 ・ 電子帳票のCSV化による迅速・確実な資料作成 ・ 帳票の紙出力年間60万枚削減により帳票作成経費：768千円節約 ・ 帳票保管スペースの削減（一所属当たりロッカー棚3段分） 	

【継続努力賞】雇用の促進（労働政策課いばらき就職支援センター）

目 標 数 値 等	実 績
就職決定者数：2,500人 （内若年者：2,000人） （ ：1,614人(内若年者1,134人)）	3,700人（H19年2月末現在） （内若年者：2,825人）
（表彰理由） 前年度より高い目標を設定し、本庁・出先が連携して目標解決に継続して取り組み、目標を大幅に達成する見込み。 センター利用者への事後指導体制の充実強化を図るなどして、これまで以上にきめ細やかなサービスの提供に努めた。 就職相談員等からなるマッチング推進協議会を毎月2回開催し、情報の共有化に努めるなど、職員が一体となって取り組んだ。	